

外国語

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
英語	総合英語Ⅱ	3	3年次・M群	選択履修
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
アクティブ・リーディング Basic （アルク）		特になし		3年次国際教養系列は全員履修

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の言語活動及びこれらを結び付けた総合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
コミュニケーションに必要な英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどに関する知識があり、適切に活用する技能を身に付けている。	日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考え方の概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

2 学習計画と観点別評価項目

学年	学期	学習内容（単元・項目）	月	学習のねらい	評価の観点
	1	2	3	4	5
学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	1 The Ocean Bottom	4月	・深海の生物について理解を深める。 ・調べたことについて話す。	1 2 3
		2 Cloning Technology	5月	・クローン技術の現状を知る。 ・メリットとデメリットを挙げて書く。	1 2 3
		3 Euthanasia	6月	・安楽死について理解を深める。 ・調べたことをレポートにまとめる。	1 2 3
		4 Social Attitudes towards Alcohol Consumption	7月	・文化による道徳観の違いを理解する。 ・異なる習慣や文化を調べて発表する。	1 2 3
		5 Braille Education	8月	・点字について開発の経緯等を知る。 ・発明や開発について調べて話す。	1 2 3
		6 College Education	9月	・大学の社会的意義について読み取る。	1 2 3
		7 Denmark, the Happiest Country in the World	10月	・デンマークについて理解を深める。 ・自分にとって幸福とは何か発表する。	1 2 3
	2 学 期	8 Giving Loans to the Poor	11月	・マイクロファイナンスについて知る。	1 2 3
		9 A PlayPump Can Change a Village	12月	・アフリカの水不足問題について知る。 ・国際貢献についてレポートを書く。	1 2 3
		10 Hybrid Cars	1月	・ハイブリットカーの現状を知る。 ・マイクロディベイトを行う。	1 2 3
		11 Eco-Friendly Edo	2月	・江戸時代の知恵について読み取る。 ・面白い歴史的事実について話す。	1 2 3
		12 The Importance of Kenyan Tree Planting	3月	・ワンガリ・マータイ氏について知る。 ・環境問題に関してグループで発表する。	1 2 3
		13 Children Living in Garbage	4月	・児童労働の現状について読む。	1 2 3
		14 Child Soldiers	5月	・子どもの人権について理解を深める。 ・社会問題についてレポートを書く。	1 2 3
	3 学 期	15 A Japanese Doctor in Afghanistan	6月	・紛争地域で人道活動をする医師について読む。	1 2 3
		16 A Challenge in a Slum	7月	・スラム街で幼児教育施設を運営する夫婦について読む。 ・自分にできる社会貢献について発表する。	1 2 3

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

学 習 評 価	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○各単元の言語活動に必要な英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどに関する知識があり、適切に活用する技能を身に付けている。	○情報や話し手・書き手の意図、概要、要点、詳細を捉えることができる。 ○情報や自分の考えなどを話したり書いたりして詳しく伝えることができる。	○言語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。 ○相互理解のために工夫を重ね、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
	手 段	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・課題（レポート、エッセイ） ・発表（プレゼンテーションなど）	・課題（レポート、エッセイ） ・発表（プレゼンテーションなど）
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末において、単元末と学期末の総括を行い評価する。	
学習上の留意点	・間違いを恐れず、授業中にできるだけたくさん英語を話したり書いたりする。 ・聞く側、読む側が分かりやすいように英語の話し方、書き方を工夫する。 ・学んだことを計画的に復習したり、実際に使ってみたりするとさらに英語力が向上する。			